

## 地域医療の感想

### 豊橋市民病院

今まで豊橋市民病院で初期研修を行ってきて、患者さんを診察する場合は救急外来における初診と入院患者さんを見ることのみでした。外来初診し、どのようにフォローしているかという点は見学も実際に自分で行うことは今までありませんでした。緊急性が無いか、致命的な疾患は無いかに重点を置き、原因が解らなくても該当しなければ帰宅させるという診療を行って来ました。それがいけないという訳ではないですが、今回新城市民病院で総合内科外来を勉強させていただき、先生方の診断の考え方、鑑別疾患の多さ、フォローをする理由・期間、慢性疾患のフォローの仕方や留意点など・生活習慣病に対する具体的な食事・運動療法など今まで学んできて来なかったことの多さ・重要さに気がつかされました。ジェネラルに見れるということの強み・すごさを目の当たりにし、自分も医師である以上は総合的に患者さんを診れるようにならなければいけないと感じました。

また、作手診療所に研修で行かせて頂き様々なことを勉強させていただきました。まず驚いたことは患者さんが診察の日を楽しみにしていることです。患者さん同士が親戚だったり同窓生だったり、待合室の雰囲気はまるで同窓会のように楽しげでした。診療所で友人と再会して話に花を咲かせることや、先生に話を聞いてもらうことを楽しみにしている患者さんからは、診療所が地域の方々の拠り所になっているのだと解りました。

また、医学教育では「疾患ではなくて患者を診なさい」とよく言われますが、診療所はまさにそれを実行している現場でした。先生や看護師さんは、患者さんの身体状況だけでなく家族や生活背景も含めて患者さんの暮らしの状態を把握してらっしゃいました。病気に関する事以外にも話を聞いて状況を把握し、町全体の住民の健康を促そうと積極的に働きかけ、患者さんの拠り所となっているのだとわかりとても感銘を受けました。

また、訪問介護・リハビリに同行させていただき、ケアマネージャーさんの仕事内容や重要性を学び、様々な他職種の方の協力で地域社会全体で高齢者・その家族を支えているのだと感じ勉強になりました。ただその反面、訪問介護・リハビリの社会への普及率、人員・金銭面不足など様々な問題があることも学ばせてもらいました。1ヶ月という短い期間でしたが今まで体験して来なかった地域医療の実際を少しでも肌で感じる事ができ、とても刺激的で楽しく勉強させていただきました。最後に新城市民病院の先生方、コメディカルの皆様、各部署の方々にお礼を述べさせていただき、地域実習の感想文とさせていただきます。